

令和 8 年 6 月 11 日  
第 11 回教育委員会定例会資料  
教 育 部

「教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価」事務局（案）

# 目 次

## Ⅱ 教育委員会施策の点検・評価

### <第4次学校教育振興基本計画・第4次特別支援教育実施計画>

8	教育環境の整備	2
9	就学の機会と安全・安心の確保	4
10	児童・生徒の保健衛生の推進	6
11	学校給食事業の適切な運営	8
12	安全・安心な給食の提供と食育の充実	10
13	総合的な教育行政の企画と推進	12
14	学校施設環境の維持管理と充実	14

### <第7次生涯学習推進計画>

15	いつでも、だれでも学べる身近な学習環境の整備	16
16	学びの裾野を広げる学習情報・学習施設の活用	18
17	立川のまちを知り、育てる学びの推進	20
18	社会教育人材の育成とネットワーク	22

### <第4次図書館基本計画・第5次子ども読書活動推進計画>

19	図書館サービスの充実	24
20	子どもの読書環境の充実	26
21	情報収集と課題解決支援の充実	28
22	多様な利用者の読書機会の確保	30
23	図書館施設・機能の充実	32

# I 教育委員会活動

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次学校教育振興基本計画>

施策	8	教育環境の整備	担当課	学務課
----	---	---------	-----	-----

## 1 目的

目的	ICTを活用した教育の質の向上や教員の場所に囚われない校務作業環境を実現します。また、それらを運営するためのネットワーク環境を実現します。
----	---

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	教育情報システム更改のための3つの基本方針(①ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成、②学校における働き方改革における校務DX環境整備、③ICTを活用するための環境整備)に基づき、教育情報システムの整備を行います。
------	---

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校間ネットワーク・統合型校務支援システムについて、教員の校務事務の効率化と学校情報セキュリティの確保に向け、保守事業者によるヘルプデスク、校務支援サポーターの訪問支援やサーバメンテナンス等を行い、安定的な運用管理に努めました。また、児童・生徒一人一台のタブレットPC整備に伴い、故障や破損などの修理対応やフィルタリングの見直しなど、端末を適切に管理するとともに、ヘルプデスクの設置によるICTを活用した教員と児童・生徒とのコミュニケーションや授業等の支援を行いました。</li> <li>・令和8年4月からの教育情報システム稼働に向け、ネットワークや教職員・児童生徒の端末を更改し、令和8年1月より仮稼働を行いました。</li> </ul>
結果	文部科学省が策定した「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に沿って、「校務系と学習系ネットワークの統合」や「校務支援システムのクラウド化」等の基盤整備のほか、タブレットPCの更新、AIデジタルドリル、授業支援ソフト、保護者連絡ツール、ICT支援員の導入準備を進め、令和8年4月からのシステムの稼働が遅延なく行える目途が立ちました。
課題	今後より一層ICTを活用し、児童・生徒の主体的・対話的で深い学びを実現させるため、学校ごと、教員ごとにより高いレベルでICT活用指導力や情報リテラシーの向上を図る必要があります。また、システムの安定稼働に努めるとともに、次期の更改に向けた検討を進める必要があります。

## 4 評価

評価	A	評価理由	参考				
			7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
		教育ICTの環境整備について、校務系、学習系システムを含む学校のICT環境整備をトータルに考えた、より効率的なシステムに再構築できました。また、高速大容量の通信ネットワークに対応したネットワーク更改を実施し、国の基準に沿った指標は目標値を達成することができました。活用支援面は今後の課題ですが、環境整備面を評価し、A評価としました。	A				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	安定稼働に努めるとともに、次期の更改に向けた検討を進めます。文部科学省「学校のICT環境整備3か年計画(2025～2027年度)」に基づく、教職員のディスプレイ1人1台を整備します。タブレットを活用した授業にあった机や椅子の整備として新JIS規格に3か年で更新を行い、計画途中の学級増等は他校からの流用や修繕で対応を行います。
---------	---

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
国の示すネットワーク推奨帯域を満たす学校数	0校	28校	28校	28校

■令和7年度実績

ネットワーク帯域の測定結果

達成校

**28校/28校**

更改前14校/28校 **-13校**

平均値

**661Mbps**

更改前404Mbps **+64%**

中央値

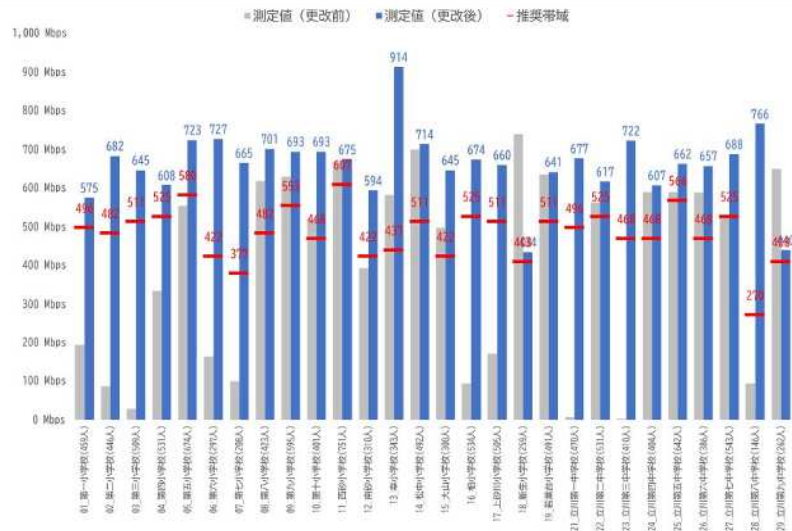
**670Mbps**

更改前522Mbps **+28%**

推奨帯域との差異(平均)

**181Mbps**

更改前-76Mbps **+338%**



ネットワーク帯域の測定結果 (データ)

学校名	児童生徒数	推奨帯域	測定値(更改前)	測定値(更改後)
01 第一小学校	459人	496 Mbps	194 Mbps	575 Mbps
02 第二小学校	446人	482 Mbps	87 Mbps	682 Mbps
03 第三小学校	509人	511 Mbps	28 Mbps	645 Mbps
04 第四小学校	531人	525 Mbps	334 Mbps	608 Mbps
05 第五小学校	674人	580 Mbps	554 Mbps	723 Mbps
06 第六小学校	297人	422 Mbps	164 Mbps	727 Mbps
07 第七小学校	208人	377 Mbps	99 Mbps	665 Mbps
08 第八小学校	423人	482 Mbps	617 Mbps	701 Mbps
09 第九小学校	595人	553 Mbps	629 Mbps	693 Mbps
10 第十小学校	401人	468 Mbps	520 Mbps	693 Mbps
11 西砂小学校	751人	607 Mbps	669 Mbps	675 Mbps
12 南砂小学校	310人	422 Mbps	393 Mbps	594 Mbps
13 幸小学校	343人	437 Mbps	582 Mbps	914 Mbps
14 松中小学校	492人	511 Mbps	699 Mbps	714 Mbps
15 大山小学校	300人	422 Mbps	496 Mbps	645 Mbps
16 柏小学校	534人	525 Mbps	94 Mbps	674 Mbps
17 上砂川小学校	505人	511 Mbps	172 Mbps	660 Mbps
18 新生小学校	259人	408 Mbps	739 Mbps	434 Mbps
19 若葉台小学校	491人	511 Mbps	635 Mbps	641 Mbps
21 立川第一中学校	470人	496 Mbps	8 Mbps	677 Mbps
22 立川第二中学校	531人	525 Mbps	562 Mbps	617 Mbps
23 立川第三中学校	410人	468 Mbps	2 Mbps	722 Mbps
24 立川第四中学校	404人	468 Mbps	589 Mbps	607 Mbps
25 立川第五中学校	642人	566 Mbps	589 Mbps	662 Mbps
26 立川第六中学校	386人	468 Mbps	588 Mbps	657 Mbps
27 立川第七中学校	543人	525 Mbps	525 Mbps	688 Mbps
28 立川第八中学校	146人	270 Mbps	93 Mbps	766 Mbps
29 立川第九中学校	262人	408 Mbps	649 Mbps	440 Mbps

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次学校教育振興基本計画>

施策	9	就学の機会と安全・安心の確保	担当課	学務課
----	---	----------------	-----	-----

## 1 目的

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対する必要な援助の実施や、宿泊を伴う学校行事における保護者の負担軽減に取り組みます。</li> <li>・登下校時の安全確保に向け、交通安全と防犯対策の推進に取り組みます。</li> </ul>
----	--

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の機会均等と経済的な負担軽減を図るため、就学援助費の支給や日光移動教室、修学旅行の参加費用の一部補助を対象者に漏れなく、迅速に行います。</li> <li>・登下校時の安全確保に向け通学中における負傷事故件の減少に向けた取組みを進めます。</li> </ul>
------	--

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校・中学校就学援助では、経済的理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対し必要な援助を行いました。</li> <li>・修学旅行費については、就学援助受給世帯以外の一般世帯保護者に経済的負担軽減のため、「教育費父母負担軽減補助金」として、児童は一人当たり5千円、生徒は一人当たり1万4千円の補助を行いました。</li> <li>・児童を登下校時の犯罪や事故から守るため、防犯ブザーの貸与や地域安全マップによる危険箇所の周知をはじめ、小学校低学年への見守り用GPS端末の購入補助、道路管理者、警察、教育委員会等による通学路合同点検、事業者による見守りボランティアの試行実施を行いました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学に係る経済的負担を軽減し、誰もが等しく教育を受けることのできる環境を整えることにつながりました。</li> <li>・全小学校に設置した通学路防犯カメラを保証期間の終了に合わせ、令和5～7年度の3か年にかけて順次更新し、通学路の安全対策が進みました。小学校低学年への見守り用GPS端末の購入補助について、申請件数が昨年同時期より増加(390件⇒425件)しており、登下校の安全確保について、低学年児童を持つ保護者の関心が高くなりました。</li> </ul>
課題	<p>教育費の補助について、制服代や児童・生徒が授業で使用する教材費の無償化など、保護者の負担軽減を求める声が議会や市民から寄せられています。登下校時の見守りについて、共働きの増加などに伴い、見守り活動への参加が困難になってきており、シルバー人材センター会員による見守りにおいても、高齢化や会員数の減少など見守りの担い手の確保が課題となっています。</p>

## 4 評価

評価	A	評価理由	子どもの安全安心事業では、一部課題はあるものの、各種施策を進め目標とする取組みを実施できました。就学援助及び教育費父母負担軽減補助金についても、対象者に漏れなく迅速に支給できています。指標の達成状況では目標値には到達していませんが、令和5年度の基準値より下回っており、順調に推移していると判断し、A評価としました。	参考				
				7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
				A				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	市内小中学校及び近隣自治体の動向を調査の上、制服代、卒業アルバム代など子育て家庭の負担軽減につながる更なる支援について検討を進めます。物価高騰などの社会情勢を鑑み、修学旅行費用に対する補助金額について増額を検討します。通学路事業者ボランティア事業について商工会議所と連携し、市内事業者等に本事業を周知し、多くの事業者が活動に参加いただけるよう引き続き募集を呼び掛け、協力事業者の活動内容の紹介など周知活動を行います。GPS端末購入助成について、3年間の実施状況を精査し、補助要件や補助額等を再度検討します。
---------	---



# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次学校教育振興基本計画>

施策	10	児童・生徒の保健衛生の推進	担当課	学務課
----	----	---------------	-----	-----

## 1 目的

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と学校医が連携し、児童・生徒の健康の維持増進及び基本的な生活習慣の確立を図ります。</li> <li>・学校保健安全法に基づき環境衛生検査を行い、学校内の環境衛生の適切な維持、管理を行います。</li> <li>・学校の教育活動に支障をきたさないよう、インフルエンザなどの感染症の予防に努めます。</li> </ul>
----	---

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の安定した受診を目指します。</li> <li>・学校環境衛生マニュアルに沿った適切な環境衛生検査を実施し、学校内の環境衛生の維持、管理を行います。</li> </ul>
------	---

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の各種定期健康診断実施日を各小中学校と学校医と日程調整を行いました。</li> <li>・定期健康診断の事務補助員や看護師の確保に努めました。</li> <li>・4月当初より実施の尿検査において、回収率向上のために、回収方法等の手順を、委託事業者の説明会の実施を依頼し、養護教諭連絡会において説明を行いました。</li> <li>・薬剤師会に委託し教室の照度や空気などの定期的検査の他、学校プールの水質検査を実施するなど、学校の衛生環境を適正に保持しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての日程が決まりました。</li> <li>・既存の人材だけでなく、新たな人材確保につながりました。</li> <li>・説明会を実施することで、養護教諭の理解が深まりました。</li> <li>・学校薬剤師による各学校の検査結果に基づき、各学校で状況の把握及び改善に向けた取り組みが行われる等、教室内の環境衛生の確保につながりました。</li> </ul>
課題	定期健康診断の日程を前年度中に決定しているが、当日欠席する児童生徒あるいは不登校の児童生徒がおり、定期健康診断の受診率を向上させるためには課題があります。

## 4 評価

評価	B	評価理由	参考				
			7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
		健康診断をはじめ、決められた期間内に必要な項目の健診や学校内の環境衛生検査は実施できており、児童・生徒の保健衛生の推進には着実に取り組んでいます。指標となる受診率は児童：98.3%、生徒：94.4%と児童・生徒とも目標値を達成することができず、一部課題があるため、B評価としました。	B				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	環境衛生検査で使用する検査機器の老朽化に対応するため、計画的に買い替えを進めていきます。プライバシーや心情に配慮した健康診断実施のための環境整備の考え方が国から示され、学校保健会などと具体的な検査・診察の方法について協議を続けていきます。健康診断について、事情により未受診者である児童・生徒の対応やその勧奨について検討します。
---------	---

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
①定期健康診断受診率 (児童)	①98.4%	①98.4%	①98.3%	①100%
②定期健康診断受診率 (生徒)	②94.8%	②94.8%	②94.4%	②100%

■令和7年度実績

令和7年度 定期健康診断受診者数

(注)児童・生徒数は令和7年5月1日現在の在籍数

区分	小学校							中学校			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	合計
児童・生徒数	1,393	1,367	1,414	1,451	1,457	1,465	8,547	1,265	1,234	1,298	3,797
受診者数	1,372	1,351	1,395	1,418	1,440	1,424	8,400	1,235	1,148	1,200	3,583

※但し、歯科検診は除く

令和7年度 学校環境衛生検査

検査名	回数	実施月	実施者
プール検査 ※プール未使用校(6校)は除く	1	6月	多摩立川保健所
水泳プール施設検査並びに水質検査 ※プール未使用校(6校)は除く	4	6・7・8・9月	学校薬剤師
プール水検査(総トリハロメタン) ※プール未使用校(6校)は除く	1	6月	委託事業者
ダニアレルゲン検査	1	8月	委託事業者
空气中化学物質検査(一次検査)	1	6月	委託事業者
空气中化学物質検査(二次検査)	1	8月	委託事業者

検査名	回数	実施月	実施者
第1回学校給食配膳室の定期検査	1	4～5月	学校薬剤師
第2回学校給食配膳室の定期検査	1	9～10月	学校薬剤師
第3回学校給食配膳室の定期検査	1	1～2月	学校薬剤師
夏休み明け前の飲料水検査結果	1	8月	学校薬剤師
照度及び照明環境の定期検査	1	10～12月	学校薬剤師
理科薬品等の保管・管理検査	1	10～12月	学校薬剤師
騒音環境検査報告	1	10～12月	学校薬剤師
夏期における教室等の空気環境定期検査	1	6～7月	学校薬剤師
冬期における教室等の空気環境定期検査	1	1～2月	学校薬剤師

定期健康診断の様子

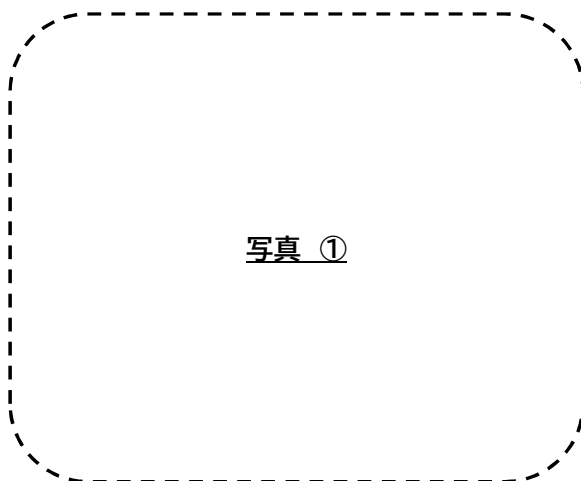


写真 ①

学校環境衛生検査の様子

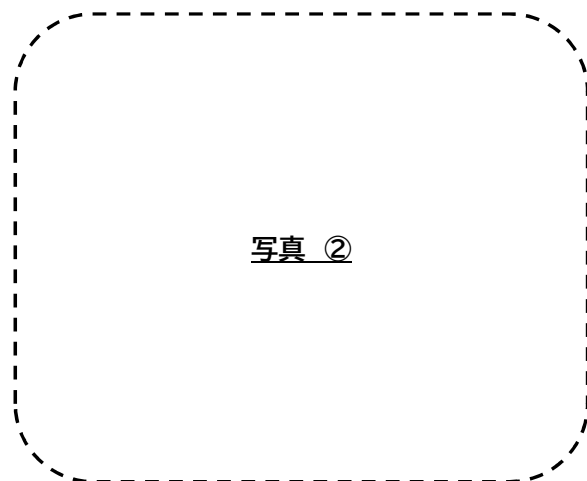


写真 ②

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次学校教育振興基本計画>

施策	11	学校給食事業の適切な運営	担当課	学校給食課
----	----	--------------	-----	-------

## 1 目的

目的	PFI手法により整備した東・西調理場の管理運営や学校給食費の徴収管理などの学校給食事業について、事業者や学校と連携・協力するなかで、適切に運営します。
----	---

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>東・西調理場の管理運営について、民間企業の資金・ノウハウ等を活用するPFI手法の利点を最大限に生かした効率的な事業運営を図ります。</li> <li>西調理場の管理運営について、現在のPFI手法による事業契約の事業評価を行い、設備の更新や運営方法の見直し等の検討を行います。〔重点〕</li> <li>東京都の補助制度を活用することで、児童・生徒の学校給食費を無償化します。</li> </ul>
------	---

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業契約において市が提示している要求水準及び事業者の提案事項の達成状況について、学校給食課及び事業者それぞれが継続的な事業モニタリングを実施しました。</li> <li>「立川市学校給食西共同調理場事業評価及び次期事業手法検討等支援業務委託(複数年)」を締結し、現事業契約の事業評価及び次期事業に向けたスケジュール検討を進めました。</li> <li>「東京都公立学校給食費負担軽減事業」及び「東京都市町村総合交付金」を活用し、児童・生徒の学校給食費を無償化しました。また、教職員等の学校給食費について、教育委員会と学校が連携・協力し、喫食数を正確に把握するなかで、公会計において適切に徴収管理を行いました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業モニタリングの結果、市が提示している要求水準が全て達成されていることが確認され、民間企業の資金・ノウハウ等を活用した効率的な事業運営ができました。</li> <li>西調理場の次期事業契約に締結に向けて、様々な検討や調整等が進みました。</li> <li>児童・生徒の学校給食費を無償化することで、子育て世帯の経済的負担が軽減できました。また、教職員等の学校給食費については、やむを得ない状況で年度内の納付が困難だった事例等を除き、適切に徴収管理ができました。</li> </ul>
課題	西調理場の次期事業契約の締結に向けた検討や入札等を、現契約の終了までに計画的に実施していく必要があります。国や都の補助制度の変更に適切に対応するなかで、児童・生徒分の学校給食費の無償化を継続する必要があります。また、利便性の向上と窓口負担の軽減等を図るため、教職員等の学校給食費の納付機会を拡充する必要があります。

## 4 評価

評価	A	評価理由	東・西調理場の管理運営について、事業モニタリングの結果全ての要求水準の達成が確認でき、効率的な事業運営及び安全・安心な給食提供の安定実施ができました。西調理場の管理運営について、次期事業契約の締結に向けた検討が順調に進んでいます。また、東京都の補助制度を確実に活用するなかで、令和6年度に引き続き、児童・生徒分の学校給食費の無償化を継続することができました。以上のことから、A評価としました。	参考				
				7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
				A				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	引き続き、PFI手法により整備した東・西調理場において、民間企業の資金・ノウハウ等を活用した効率的な事業運営を図るとともに、事業者への継続的な事業モニタリングの実施等により、給食提供能力の維持・向上に努めます。また、西調理場については、次期事業契約の締結にむけて、現契約の事業評価と次期事業手法等の検討等を進めます。学校給食費の徴収管理については、令和8年度から国が実施する「学校給食費の抜本的負担軽減」や東京都の補助制度の動向を注視するなかで、引き続き、児童・生徒分の学校給食費の無償化を継続します。
---------	---

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
事業モニタリング結果における要求水準達成割合	100%	100%	100%	100%

■令和7年度実績

1 東・西調理場の管理運営

(1) 効率的な事業運営

年間総給食提供食数

東調理場:1,466,868食

西調理場:1,039,669食

モニタリング会議の実施回数

東調理場:12回

西調理場:12回



(2) 西調理場の管理運営

立川市学校給食西共同調理場事業評価及び次期事業手法検討等支援業務委託(複数年)

契約金額:15,378,000円(令和7年11月18日~令和8年10月30日)

(実施内容:令和7年度)

受託事業者との打合せ:4回

施設劣化診断調査の実施:1回(令和8年2月28日)

2 学校給食費の徴収管理

(1) 学校給食費無償化の実施

対象者数(令和7年5月1日時点)

小学校児童:8,547人

中学校生徒:3,797人

学校給食費相当額(児童・生徒分)(令和7年度分)

小学校児童分:479,057,786円

(うち、都補助金:214,227,000円 東京都市町村総合交付金:160,670,864円

他制度分:12,170,819円 市負担分:91,989,103円)

中学校生徒分:242,200,848円

(うち、都補助金:105,042,000円 東京都市町村総合交付金:78,781,662円

他制度分:6,095,495円 市負担分:52,281,691円)

※他制度分:就学援助費(要保護分)、就学奨励費

学校給食代替弁当補助金(令和7年度)

小学校児童分:687,336円

(うち、都補助金:344,000円 東京都市町村総合交付金:257,502円 市負担分:85,834円)

中学校生徒分:580,023円

(うち、都補助金:290,000円 東京都市町村総合交付金:217,517円 市負担分:72,506円)

(2) 適切な徴収管理の推進

学校給食費(教職員等分)(令和7年度:現年度分)(令和8年4月30日時点)

小学校分 調定額:58,948,562円 収入額58,755,532円 収入率99.7%

中学校分 調定額:27,280,884円 収入額27,228,705円 収入率99.8%

学校給食費(教職員等分)(令和6年度分:滞納繰越分)

小学校分 調定額:12,240円 収入額12,240円 収入率100%

中学校分 調定額: 354円 収入額 354円 収入率100%

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次学校教育振興基本計画>

施策	12	安全・安心な給食の提供と食育の充実	担当課	学校給食課
----	----	-------------------	-----	-------

## 1 目的

目的	国の基準を満たす安全・安心な栄養バランスのとれた給食を安定的に提供することで、児童・生徒の健康増進に取り組むとともに、小中学校における食育の充実を支援します。
----	---

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の食材料の物価高騰に対応する中で、衛生的かつ良質な食材料を適正な価格で安定的に調達し、地元農産物の使用拡大を図ります。</li> <li>・衛生管理を徹底し、「手づくり給食」の提供を推進します。</li> <li>・「立川市学校給食における食物アレルギー対応方針」に基づく対応を徹底します。</li> <li>・栄養士による給食時間の学校訪問や給食を教材とした食に関する授業支援等を実施します。</li> </ul>
------	--

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「立川市学校給食用材料調達事務要綱」に基づき、市内産の生産物及びこれを原材料とした加工品等を優先するなかで、市の定める規格を満たす衛生的かつ良質な食材料を調達しました。</li> <li>・市栄養士による東・西調理場の調理工程から配送・配膳までの運営状況の確認等により、「立川市学校給食衛生管理基準」等に基づく衛生管理を徹底しました。また、様々な献立や調理工程の工夫を凝らすことにより、大量調理にあっても「手づくり給食」の提供を推進しました。</li> <li>・給食で食物アレルギー対応が必要な全ての児童・生徒に対して、保護者・学校・学校給食課栄養士が参加する「アレルギー面談」を実施する等、児童・生徒の食物アレルギー対応を徹底しました。</li> <li>・市栄養士による給食時間の学校訪問や食に関する授業支援等を実施しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精白米を中心とした食材料の物価高騰に対応するため、年度の途中で学校給食費の改定を行い、必要な予算を確保したうえで、衛生的かつ良質な食材料を適正な価格で安定的に調達しました。また、農業振興課と連携し、市内産の農産物の積極的な活用とPRを行いました。</li> <li>・栄養士と東・西調理場の運営事業者が連携・協力し、本市の給食の特徴である「手づくり給食」を安定して提供しました。児童・生徒を対象とするアンケートにおいて、「学校給食は好きですか」「学校給食はおいしいですか」等の設問に対する肯定的な意見が90%を超えています。</li> <li>・児童・生徒の健康被害につながるような食物アレルギー事故は発生していません。</li> </ul>
課題	「立川市学校給食における食物アレルギー対応方針」に基づく各工程での対応が徹底されるよう、特に学校での対応状況を継続的に確認していく必要があります。また、栄養士による給食を題材とした食に関する授業支援等をより発達段階を踏まえた体系的な内容に見直していく必要があります。

## 4 評価

評価	A	評価理由 安全・安心で栄養バランスのとれた「手づくり給食」を安定的に提供できており、児童・生徒からの評価が高い状態を維持しています。また、食物アレルギー対応について、学校給食におけるアレルギー原因食物誤摂取等の食物アレルギー事故による健康被害は発生しておらず、提供する料理1品1品ごとにアレルギー対応食を提供するなど、きめ細やかな対応ができています。以上のことからA評価としました。	参考				
			7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
			A				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	引き続き、衛生的かつ良質な食材料を円滑に調達し、調理工程及び配送・配膳時の衛生管理を徹底することで、食中毒事故を防止するとともに、国の基準を満たす安全・安心な栄養バランスのとれた給食を安定的に提供し、児童・生徒の健康増進に取り組めます。また、関係者の情報共有と各工程での確認を徹底することで、食物アレルギーのある児童・生徒に安全・安心な給食を提供します。さらに、共同調理場における「食に関する指導の全体計画」に基づき、各校の「食に関する指導の計画」と連携しながら、小中学校における食育の充実を支援します。
---------	--

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
学校給食における食物アレルギー事故の発生件数	0件	0件	0件	0件

■令和7年度実績

1 安全・安心な給食提供の推進

(1) 衛生的かつ良質な食材料の調達

学校給食用食材料費(小学校分) 527,325,761円

学校給食用食材料費(中学校分) 265,803,357円

(2) 衛生管理の徹底

学校環境衛生検査(学校薬剤師) 各3回(東・西調理場)

学校給食配膳室定期検査(学校薬剤師) 各3回(小中学校全28校)

(3) 手づくり給食の推進

児童・生徒を対象とするアンケート結果(令和8年1月実施)

【回答率】(小学校)79.0% (中学校)61.0%

設問	肯定的な意見の割合
学校給食は好きですか	(小学校)96.3% (中学校)95.6%
学校給食はおいしいですか	(小学校)97.7% (中学校)96.3%
温かい料理は温かいですか	(小学校)89.4% (中学校)94.8%



(4) 食物アレルギー対応の徹底

食物アレルギーのある児童数(令和7年5月1日) 581人

食物アレルギーのある生徒数(令和7年5月1日) 215人

アレルギー面談の実施回数(栄養士参加) 271回

1 食育支援の推進

(1) 食育指導の支援

食に関する授業支援の実施回数 289回

小学校社会科見学の受け入れ校数 19校

中学校職場体験の受け入れ人数 5校(東調理場)



(2) 情報発信の強化

学校給食課が主催する試食会 3回

東・西調理場の運営事業者によるイベント 各2回(東・西調理場/夏・冬)

Instagram(インスタグラム)を活用した情報発信 毎日



©TACHIKAWA\_GAKKOUYUUSHOKU

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次学校教育振興基本計画>

施策	13	総合的な教育行政の企画と推進	担当課	教育総務課
----	----	----------------	-----	-------

## 1 目的

目的	<p>新たな教育ニーズに対応した様々な教育施策を企画立案し、積極的に教育行政を推進します。標準規模より学級数が少ない小中学校において、教育的視点や地域特性を踏まえた学校教育環境のあり方を検討します。</p>
----	---

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第4次学校教育振興基本計画」を策定します。〔重点〕</li> <li>・「朝の居場所づくり事業」を試行的に実施する小学校2校を選定し、実施に向けた各種取組を進めます。〔重点〕</li> <li>・「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の見直しを行います。</li> <li>・教育情報誌「立川の教育」を発行します。</li> </ul>
------	---

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第4次学校教育振興基本計画」の策定に向け、市民意見公募の実施や教育委員会定例会で協議を行いました。</li> <li>・「朝の居場所づくり事業」を進める他市の実態を調査研究するとともに、仕様内容や事業実施マニュアル等を作成しました。</li> <li>・教育委員会の分野別個別計画の策定に伴い、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の対象施策を見直すとともに、評価しやすい方法を検討しました。</li> <li>・教育情報紙「立川の教育」を発行しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度から5年間の立川市の学校教育の指針となる「第4次学校教育振興基本計画」を策定しました。</li> <li>・学校始業前における児童の居場所づくりや、いわゆる「朝の小一の壁」の課題解決につなげるため、令和8年度から試行実施する小学校2校を選定しました。</li> <li>・「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の対象施策を設定するとともに、評価表や指標設定の見直しを行いました。</li> </ul>
課題	<p>「朝の居場所づくり事業」に従事する人材に地域的な偏在があり、事業を拡大していく上で、人材確保に課題があります。</p>

## 4 評価

評価	B	評価理由	<p>「第4次学校教育振興基本計画」を策定するとともに、「朝の居場所づくり事業」における目標を達成できましたが、教育委員会施策の点検・評価表におけるA評価以上の施策の割合となる指標は〇〇%と目標値を達成することができず、一部課題があるため、B評価としました。</p>	参考				
				7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
				B				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	<p>「朝の居場所づくり事業」の実施校を拡大していくため、各校調整や、人材確保に向けた課題整理に努めていきます。「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」では、取組結果が明確化され、より評価しやすくするため、年度当初の時点で、達成目標や成果指標を設定する取組を進めていきます。</p>
---------	--

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
教育委員会施策の点検・ 評価表におけるA評価以 上の施策の割合	68%	80%	〇〇%	80%

■令和7年度実績

朝の居場所づくり事業実施に関するアンケートの実施

対象校
市立小学校19校
子どもの朝の居場所について課題があると回答した学校数
19校中15校
主な回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・共働き等で、親と早く家を出なければならぬ児童がいたり、親だけ先に出て、後ほど一人で家を出る児童もいたりする。子どもたちの朝の居場所があれば保護者も児童も安心すると感じる。</li> <li>・子どもの居場所は必要だが、教員の勤務時間の関係と場所が課題である。</li> <li>・教員の勤務時間前に児童が校舎内に入るため、児童の安全を確保することや安全管理に関する責任の所在をどうしていくかが課題である(現在は、管理職の責任の下、校舎内に児童を入れている)。</li> </ul>

朝の居場所づくり事業 実施校

開始年度	実施校
令和8年度	第一小学校(5月1日開始)、若葉台小学校(4月7日開始)

朝の居場所づくり事業の実施



若葉台小学校



第一小学校

教育情報紙「立川の教育」の発行



# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次学校教育振興基本計画>

施策	14	学校施設環境の維持管理と充実	担当課	教育総務課
----	----	----------------	-----	-------

## 1 目的

目的	施設・設備の日常点検を実施し、児童・生徒が安全で快適な学校生活を送れるよう適正な維持管理に努めます。また、危険箇所や不具合がある場合は、緊急修繕を行うとともに教育上支障が生じることがないように、施設・設備の修繕を実施します。学校施設のLED化や太陽光発電設備の設置等に取り組み、環境への負荷を軽減します。
----	--

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設・設備について、適切な維持管理を行うとともに、必要な改修工事等を行います。</li> <li>・普通教室の空調設備について、計画的な更新に向けた検討を開始します。</li> <li>・学校施設のLED化や太陽光発電設備の設置等に取り組みます。</li> </ul>
------	--

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設・設備の維持管理について、学校要望等を踏まえ、優先順位をつけて修繕や工事を実施いたしました。</li> <li>・空調設備の計画的な更新に向けて、空調機の熱源や整備方法を検討しました。</li> <li>・照明設備のLED化や太陽光発電設備の設置に取り組んだほか、今後のLED化の計画的な設置に向けて、LED化整備計画を更新しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の修繕〇件・営繕〇件、中学校の修繕〇件、営繕〇件行いました。改修工事については、小学校5件、中学校7件行いました。</li> <li>・早期に空調設備を更新するため、予算確保に向けて熱源や事業手法の比較検討等を行いました。</li> <li>・新生小学校と第九中学校のLED化を行いました。また、第九中学校に太陽光発電設備を設置しました。</li> </ul>
課題	引き続き学校施設や設備の老朽化に伴い、修繕件数の増加や工事金額の増嵩等が課題となっています。

## 4 評価

評価	B	評価理由	照明設備のLED化や太陽光発電設備の設置を計画的に行うことができたが、維持管理に関する学校からの依頼に対しての達成率は〇〇%と目標値を達成することができず、一部課題があるため、B評価としました。	参考				
				7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
				B				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	引き続き、学校施設・設備の適切な維持管理に努め、必要な改修や工事を行います。空調設備更新については、予算確保に向けて課題整理に努めていきます。
---------	---

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
維持管理に関する学校からの依頼に対する達成率	98.6%	100%	〇〇%	100%

■令和7年度実績

小学校	
工事名	工事概要
新生小学校照明設備改修工事	校舎の照明を蛍光灯からLEDに更新しました。
柏小学校屋上防水及び外壁改修工事	雨漏りが起こっていたため、屋上の防水、外壁の改修工事を行いました。
上砂川小学校受変電設備改修工事	老朽化した受変電設備を更新しました。
第一小学校南門側溝上蓋取替工事	南門の側溝の上蓋に亀裂が入っていたため、取替を行いました。
小学校門扉改修工事 (松中小学校・大山小学校)	経年劣化により門扉に開閉不良等が生じていたため、改修を行いました。

中学校	
工事名	工事概要
第九中学校中規模改修工事	若葉町まちづくり方針に基づき、中規模改修工事を行いました。
第四中学校照明設備改修工事	校舎の照明を蛍光灯からLEDに更新しました。
中学校受変電設備改修工事 (第六中学校・第七中学校)	老朽化した受変電設備を更新しました。
第八中学校門扉改修工事	経年劣化により門扉に開閉不良等が生じていたため、改修を行いました。



屋上防水等を実施した柏小学校



中規模改修した第九中学校

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第7次生涯学習推進計画計画>

施策	15	いつでも、誰でも学べる身近な学習環境の整備	担当課	生涯学習推進センター
----	----	-----------------------	-----	------------

## 1 目的

目的	時間的制約や生活環境の違い、障害の有無、年齢や性別、国籍の違い、経済的格差などにかかわらず、学習権はすべての人に等しく保障されるべきであり、誰もが生涯を通じて学び続けられるように、学習機会の充実に努める必要があります。市民一人ひとりの主体的で自由な自己実現のための学びが、学びあいを通じて地域のつながりをつくり、まちづくり・地域づくりへと展開し、学習と活動の循環をつくりだすことは、生涯学習の重要な役割です。市民の学びあいを通じた交流から生まれる「知縁・学縁」が、地域課題の解決へと発展していくよう、市民と協働し、様々な事業を展開していきます。
----	--

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民推進委員会や地域学習館運営協議会、市民リーダー、市内で活動する団体など、市民の立場で学びの企画・運営を担っている方々と連携し、市民が求める多彩な学習機会を創出します。</li> <li>・誰もが主体的に学ぶことができる学習機会の提供を、デジタル技術等も活用して進めます。</li> <li>・講座などの受講者・学習館利用者同士や、地域の中で活動する様々な団体の担い手など、分野や領域を超えた交流の場を設け、知縁・学縁の形成や学びの場の充実・発展を目指します。</li> </ul>
------	--

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の力で企画・実施する講座として、市民企画34講座67回、団体企画型24講座45回を実施しました。また、行政企画526講座3,240回を実施し、市全体では584講座3,352回を実施しました。・戦後80年の節目の年を迎え、平和に関する講座や講演会、展示を市民企画、行政企画ともに実施しました。</li> <li>・誰もが参加しやすいよう、265講座でWebを活用した参加者受付を行い、また11講座で、Zoomを使用したオンライン配信を行いました。</li> <li>・地域で活動する市民の交流の場として、各地域学習館(砂川学習館を除く)まつりをそれぞれ開催しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民企画講座は延べ1,736人、団体企画型講座は延べ1,621人、行政企画講座は延べ63,525人が受講し、市全体では延べ66,882人が受講し、平和に関する講座・講演会では、延べ699人が受講するなど多くの方が参加されました。</li> <li>・オンライン配信講座では、延べ75人(接続アカウント数)が受講される(上記延べ人数に含む)などデジタル化が進みました。</li> <li>・地域学習館まつりでは延べ5,186人が訪れずれるなど、地域で活動する市民の交流の場となりました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン配信を行う講座では、オンライン受講より会場受講の方が人気があり、設定したオンライン受講者数に届かない講座もありました。</li> <li>・電子申請による申込に対応できない方のために電話での受付も並行して行うため、職員の負担が増えました。</li> </ul>

## 4 評価

評価	A	評価理由	参考				
			7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
		市民推進委員会や地域学習館運営協議会、市民リーダー、市内で活動する団体など、市民の立場で学びの企画・運営を担っている方々との連携を進めたことにより、たちかわ市民交流大学の受講者数の目標値を達成できたこと、また、オンライン講座の積極的な提供を進め、利用者からも評価を得ることができたことなどにより、目標水準を達しているため、A評価としました。	A				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	引き続き、市民推進委員会や地域学習館運営協議会、市民リーダー、市内で活動する団体など、市民の立場で学びの企画・運営を担っている方々と連携し、市民が求める多彩な学習機会を創出し、誰もが主体的に学ぶことができる学習機会の提供を、デジタル技術等も活用します。また、講座などの受講者・学習館利用者同士や、地域の中で活動する様々な団体の担い手など、分野や領域を超えた交流の場を設け、知縁・学縁の形成や学びの場の充実・発展を目指していきます。
---------	---

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
たちかわ市民交流大学事業の受講者数	63,947人	56,000人	66,882人	63,947人

■令和7年度実績

市民交流大学事業

たちかわ市民交流大学の講座は、「市民企画」、「団体企画型」、「行政企画」の3つの柱で構成されており、「生涯学習からはじまるまちづくり」をテーマに、市民の参画と庁内の横断的な連携のもと、講座事業を中心に体系的に市民の学びを推進するたちかわ市民交流大学事業を展開しました。



市民企画講座  
「ファシリテーション入門講座」



団体企画型講座  
「未来に伝え残したい立川の歴史遺産－明治時代からの近代化と立川－」



行政企画講座  
「SAFって何？天ぷら油で飛行機をとばそう！」

地域学習館まつり

サークル等が日頃の学習成果を発表し、地域での交流や新たな学習の場の発見をする取り組みです。令和7年度は建替中の砂川学習館を除く9館で開催しました。



「柴崎学習館まつり」舞台発表会



「錦学習館学習まつり」演奏会



「西砂学習館まつり」展示の一部

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第7次生涯学習推進計画>

施策	16	学びの裾野を広げる学習情報・学習施設の活用	担当課	生涯学習推進センター
----	----	-----------------------	-----	------------

## 1 目的

目的	すべての市民が主体的に学ぶためには、自らに適した手段で学習情報を得られること、身近に学習する場があることが重要です。情報格差による不利益や孤立を招くことがないように、学習情報の提供に取り組みます。また、学びへの関心と意欲を引き出すために、学習相談体制の充実に取り組みます。そして、地域学習館をはじめとした地域の学習施設は社会教育の理念のもと、地域の学びの拠点として、地域学習館運営協議会や利用者、地域団体・組織との協働を進め、学習活動の場を提供すると同時に、地域の中の交流を生みだし、地域活性化に資してきおり、改めて市民や関係組織・団体と協議・共有するとともに、求められる役割を十分発揮し有効活用できるよう、取り組みます。
----	---

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも、どこでも、誰もが必要な情報をわかりやすく入手できるよう、よりよい学習情報の蓄積と提供のあり方について検討し、計画的に実践します。</li> <li>・講座等を開催するとともに、学習館等の活用を促すための事業を実施します。</li> <li>・施設を適切に維持管理するとともに、必要な工事等を実施し利用者の安全を確保します。</li> </ul>
------	---

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広報たちかわ」、情報誌「きらり・たちかわ」、講座毎に作成するチラシなど紙媒体のほか、ホームページ、X、LINEなどのデジタル媒体により講座や催しについての情報提供を行いました。</li> <li>・スマートフォンによる歴史民俗資料館の展示解説を楽しめるアプリで本市の歴史や文化財について、いつでもアクセスできる環境として情報を届けました。</li> <li>・砂川学習館の建替え工事、こぶし会館の中規模改修工事を実施しました。</li> <li>・施設予約システムを更改し、キャッシュレス決済を導入しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「きらり・たちかわ」については、講座情報以外の特集記事やイベント記事の充実に努め、多くの方に目にしてもらえよう、258か所で配付することができました。また、生涯学習推進センター内のX公式アカウントについて、フォロワー数は202人となり、歴史民俗資料館のX公式アカウントについて、フォロワー数は611人となるなど情報提供の機会が高まりました。</li> <li>・建替え工事や改修工事により、施設のLED化や居心地のよい空間づくりが進み、市民の学習環境の向上に寄与しました。</li> <li>・施設予約システムの更改により利用者の利便性が高まり、個人もシステムを利用できるようになるなど学習館の活用促進につながり、市民の学習意欲を高めることができました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「きらり・たちかわ」は新規読者の獲得や「生涯学習情報コーナー」については気軽に利用していただける工夫等が必要です。また、SNSを活用した情報発信については認知度をもっと高め、有益なコンテンツや頻度なども勘案して進めていくことが必要です。</li> <li>・老朽化の進む施設が多いため、適切な維持管理や改修工事が必要となっております。</li> </ul>

## 4 評価

評価	A	評価理由	地域学習館では、紙媒体はもちろんのこと、ホームページやSNSを活用した情報発信などにより、利用者数について目標値を上回ったこと、歴史民俗資料館のガイドアプリなどの充実、キャッシュレス決済可能な施設予約システムの更改、そして、施設の建替えや中規模改修工事などにより利用者のサービス向上に寄与することができました。以上のことから目標水準に達しているため、A評価としました。	参考				
				7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
				A				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	引き続き、いつでも、どこでも、誰もが必要な情報をわかりやすく入手できるよう、よりよい学習情報の蓄積と提供のあり方について検討し、計画的に実践し、講座等を開催するとともに、学習館等の活用を促すための事業を進めます。また、施設を適切に維持管理するとともに、必要な工事等を実施し利用者の安全を確保します。
---------	---

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
地域学習館利用者数	227,216人	242,000人	253,344人	273,698人

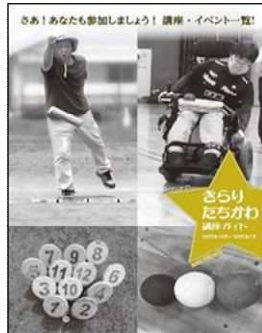
■令和7年度実績

○情報誌「きらり・たちかわ」の発行(各6,000部)

市民交流大学事業の講座情報や学習情報、地域情報などを提供し、市民の講座受講の利便性向上などを図るため、市民推進委員との協働により講座情報誌「きらり・たちかわ」を発行しました。



きらり・たちかわ  
講座ガイド 春号



きらり・たちかわ  
講座ガイド 夏号



きらり・たちかわ  
講座ガイド 秋号



きらり・たちかわ  
講座ガイド 冬号

○いきいきたちかわ出前講座

市政に関する市民の学習支援と説明責任を果たすことを目的に、出前講座を実施し、13回199人の方が受講されました。



いきいきたちかわ出前講座紹介冊

○立川市歴史民俗資料館ガイドアプリ(ポケット学芸員)

スマートフォンを利用して展示解説を楽しめる無料のガイドアプリであり、立川市歴史民俗資料館の展示や市内の指定文化財の概要を見ることができ、本アプリは、全国200弱の博物館・美術館登録されており、他館をターゲットにアクセスした閲覧者にも、本市の歴史等の情報を提供し、PRすることができました。



立川市歴史民俗資料館ガイドアプリ

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第7次生涯学習推進計画>

施策	17	立川のまちを知り、育てる学びの推進	担当課	生涯学習推進センター
----	----	-------------------	-----	------------

## 1 目的

目的	生涯学習の推進は、市民一人ひとりの生涯にわたる成長と自己実現や生きがいといった、いきいきとした暮らしの実現のためであると同時に、学びを通じて人と人がつながり、地域に愛着を持ち、地域を共に育むという重要な目的があります。そのためには、市民の主體的で共同的な学びが、立川ならではの特徴や魅力を知り、育てる学びへと発展していけるよう、事業の企画や実施にあたっては人づくり、つながりづくり、地域づくりの視点をもって、取り組みます。
----	---

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>「立川市民科」講座の実施や文化財の保護と活用を通して、地域課題の共有化と解決に向けた学びを推進します。</li> <li>地域学校協働本部の実施、地域学習館と学校の連携を通して、学社一体の学びを通じた地域づくりを推進します。</li> </ul>
------	--

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>立川市民科として、「戦後80年立川から考える戦争と平和南・北エリア編」「どうする！？在宅避難時のトイレ」など35講座を実施しました。また、歴史民俗資料館にて写真展「たちかわの昭和100年-激動の世紀-」や、清瀬市郷土博物館と連携した「清博×立川歴民開館40周年コラボ展示」等を開催しました。</li> <li>法令に伴う埋蔵文化財保護のほか身近に遺る貴重な文化財を収集し、調査研究のうえ適切に保存を図れるように努めました。また、東京文化財ウィークの一環として、保存修理が修了した国宝「六面石幢」の特別公開に合わせ、関連展示・講演会を実施し、のべ1,300名もの参加がありました。</li> <li>学校と地域の連携・協働をするため「地域学校協働本部事業」を進め、市立小中学校にて、延べ5,008人のボランティア(有償無償を問わない)が協働活動を行いました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>立川市民科講座、歴史民俗資料館の体験講座など地域を知る機会を提供することができました。市民科講座では身近な地域の戦争・歴史や、防災について体験を通して学ぶこと等より、改めて地域について考える契機や課題解決につながりました。</li> <li>文化財保護意識を高めるための歴史・民俗普及活動事業では、文化財の公開活用を行う現地見学会や企画展、体験学習会を開催し、立川市の歴史について学び、地域への愛着を喚起するきっかけとなりました。</li> <li>「地域学校協働本部事業」を実施することにより、地域学校コーディネーターを中心に地域人材や学校支援ボランティアを活用して、地域を担う将来世代の育成や、学校と地域の連携・協働を進めることができました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の伝統文化の継承などにおいて「担い手不足」が顕在化してきており、対応が必要となっています。</li> <li>学校と地域をつなぐ存在として、地域学校コーディネーターの役割は重要ですが、学校により活用方法が異なるため、学校・コーディネーターへの役割の周知が課題となっています。</li> </ul>

## 4 評価

評価	A	評価理由	参考				
			7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
		歴史民俗資料館では地域の歴史・文化を学ぶ講演会や企画展など行い、利用者数について目標値を上回ったことや「立川市民科」講座の実施や文化財の保護と活用を通じた地域課題の共有化と解決に向けた学びができたこと。また、地域学校協働本部事業や学校支援ボランティア事業を効果的に進めることができました。以上のことから目標に達しているため、A評価としました。	A				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	引き続き、「立川市民科」講座の実施や文化財の保護と活用を通して、地域課題の共有化と解決に向けた学びを推進します。また、地域学習館運営委員会などに地域学校コーディネーターを招き学校との連携事業の協力や地域人材の紹介など情報交換を行います。
---------	--

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
歴史民俗資料館利用者数	5,031人	5,130人	6,007人	5,326人

■令和7年度実績

○歴史民俗資料館・古民家園

地域の歴史・文化を学ぶ講演会、文化財巡り、郷土の年中行事を体験する「手打ちうどん作り」等の体験学習会や地域の貴重な文化財を紹介する企画展「甦る六面石幢」等を開催しました。



歴史民俗資料館 企画展  
「甦る六面石幢－文化財修理最前線－」



歴史民俗資料館 体験学習  
「手打ちうどん作り」



歴史民俗資料館 体験学習  
「繭玉飾り」

○立川市民科講座

市内にある貴重な地域資源を積極的に活用し地域との繋がりを学ぶことをテーマにした地域活性化講座等を立川市民科講座として開催しました。



地域活性化講座/防災講座「どう  
する!? 在宅避難時のトイレ」



歴史民俗資料館 体験学習  
「玉川上水を歩く」



地域活性化講座  
「柴崎歴史探訪～普濟寺編」

○学校支援ボランティア

授業の見守り、環境整備や学習支援などで、17校の市立小・中学校へ派遣しました。(登録56人(派遣実績延べ44人))

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第7次生涯学習推進計画>

施策	18	社会教育人材の育成とネットワーク	担当課	生涯学習推進センター
----	----	------------------	-----	------------

## 1 目的

目的	<p>市民一人ひとりの成長や自己実現のための学習から、地域のつながりづくりやまちづくり・地域づくりにつながる学びあいに発展させていくためには、学習活動の企画・運営支援を行う人材の育成や、社会教育人材のネットワーク化が必要です。また、社会教育人材の育成と活用のため、地域に人々が集える場を確保し、より使いやすい施設を目指して設備などの充実を図ります。社会教育人材の育成と活用、ネットワーク化、多様な団体・組織と連携・協働した学習環境の実現のためには、コーディネーターの働きが必要です。そのために、地域に密着し信頼されるコーディネーターの役割を果たす職員の育成が不可欠です。「市民の共学・協働が育むまちづくり」を市民と共に実現していくため、職員は、学習のコーディネーターとして市民ニーズを的確に捉え、市民が抱える課題を学びと結び付け、学習を通して実際に解決できるよう支援していきます。</p>
----	--

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学習館運営協議会交流会、生涯学習関係職員研修会等の開催を通じて、支援と育成、連携を進めます。</li> <li>・地域学習館や学習等供用施設などでのまつり事業などを通しネットワークの構築を進めます。</li> <li>・市民リーダーの活用を広めるため「みんなの講座」の開催や様々な団体などへ紹介します。</li> <li>・地域人材の活用を図るため、職員のコーディネート力の向上研修を行います。</li> </ul>
------	--

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学習館運営協議会交流会や生涯学習関係職員研修会を各1回開催し、それぞれ25名、29名が参加しました。</li> <li>・学習館まつりを開催し、社会教育関係団体等、学習館を拠点とする団体が参加しました。市民リーダー「みんなの講座」を6回開催しました。また、例年秋に行う講師フェアのほか、3月にプチ講座のつどいを開催し、相互の学びや周知につとめました。</li> <li>・職員のコーディネート力向上のため、職員が研修として東京学芸大学公開講座へ参加しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学習館運営協議会や生涯学習関係職員研修会を通して、関係団体及び職員の連携強化や各人のスキルアップにつながりました。</li> <li>・学習館まつりなどの事業などを通して地域の交流の機会を提供することができました。</li> <li>・市民リーダーが講師として「みんなの講座」等を開催することにより、制度の周知ができ、市民リーダーの延べ活用件数が196件となり、生涯学習活動を広く市民に展開することができました。また、数年ぶりに市民リーダー交流会を開催し、会員相互の情報交換等を通じて、交流を深めるとともに各人の講師としての技術向上に寄与しました。</li> </ul>
課題	<p>担い手不足が顕在化する中、自分の持つ知識や技能を地域のために生かしたいと考えている潜在的な人材の掘り起し、確保、育成が課題となっています。</p>

## 4 評価

評価	A	評価理由	生涯学習市民リーダーについて、活用を広めるため「みんなの講座」等による告知など行ったことなどにより、延べ活用数について目標値を上回ったこと、地域学習館運営協議会交流会、生涯学習関係職員研修会や東京学芸大学の養成講座による職員のコーディネート力の向上研修を行うなどができました。以上のことから目標水準を達しているため、A評価としました。	参考				
				7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
				A				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	<p>引き続き、地域学習館運営協議会交流会、地域学習館や学習等供用施設でのまつりなどを通し、ネットワークの構築を進めるとともに、市民リーダーの活用を広めるため「みんなの講座」の開催や様々な団体などへ紹介します。そして、地域人材の活用を図るため、職員のコーディネート力の向上研修を行っていきます。</p>
---------	---

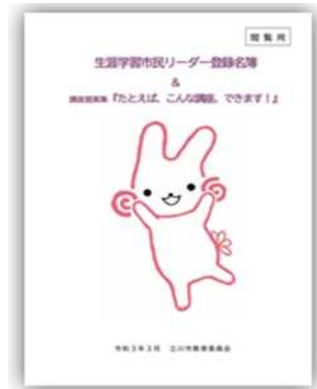
■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
生涯学習市民リーダー延 べ活用数	90人	130人	196人	200人

■令和7年度実績

○生涯学習市民リーダー

市民リーダーの会主催で講師フェア、プチ講座のつどいを各1回、「春のヴォイスレッスン」「こどもプログラミング体験教室」など「みんなの講座」を6回開催しました。また、各団体主催の講座等で活躍しました。市民リーダー交流会も5年ぶりに開催し、情報交換等を通し各自のスキルアップにつながりました。



みんなの講座「春のヴォイスレッスン」 みんなの講座「こどもプログラミング体験教室」

生涯学習市民リーダー紹介冊子

○地域学習館運営協議会交流会

地域学習館運営委員会委員及び生涯学習推進センター職員を対象に、「地域学習館運営協議会における地域活性化の取り組みについて」の意見交換などの交流会を行い、各地域学習館の連携強化に繋がりました。



地域学習館運営協議会交流会の様子

○生涯学習関係職員研修会

生涯学習推進センター職員及び生涯学習推進審議会委員等を対象に、研修会、『わがまち「立川・砂川」の成り立ちを学ぶ～生涯学習を推進する立場として～』を実施し、石器時代から現在までの立川や砂川の成り立ち・歴史について、理解を深めることができました。

○コーディネーター養成講座

職員の生涯学習推進センター3名の職員が、東京学芸大学主催のコミュニティの学び合いを支援するコーディネーター養成講座を受講し、コーディネート力向上のスキルアップに繋がりました。

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次図書館基本計画>

施策	19	図書館サービスの充実	担当課	図書館
----	----	------------	-----	-----

## 1 目的

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書や学びの場を確保し、学習活動や市民生活に必要な資料、情報の収集・整理・提供・保存を進めるとともに、電子や視聴覚資料など様々な媒体によるサービスの充実を図ります。</li> <li>・図書館資料の貸出、閲覧等の利用促進のため、行事等の情報発信に取り組みます。</li> <li>・庁内各部署や関連機関との連携を強化し、資料・情報内容の充実を図ります。</li> </ul>
----	---

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書・行政資料・視聴覚資料について、収集方針に基づき選定会議を行うとともに、除籍、保存についても適切な判断を行い、最適な蔵書構成を維持します。</li> <li>・企画展示やイベント等を行うとともに、効果的な情報発信や関係団体・関連部署と連携した情報提供を行い、貸出数の増加や図書館利用の促進を図ります。</li> <li>・中央図書館に読書や学びの場のためのスペースを確保します。</li> </ul>
------	--

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集・除籍方針に基づき、図書資料・視聴覚資料・地域行政資料を計画的に収集しました。</li> <li>・タマラスシステム(多摩地域の所蔵数を調べるシステム)を利用した多摩地域所蔵状況と連携した除籍及び多摩地域2冊保存を継続実施しました。</li> <li>・地域の特性や季節・時宜に応じた企画展示やイベント等を実施しました。</li> <li>・立川税務署や庁内部署との連携により時節に合わせたテーマで関連部署の事業紹介と図書館の利用促進を合わせたテーマ展示を行いました。</li> <li>・民間企業等からの継続支援により「たちかわ電子図書館」のコンテンツ充実を図りました。</li> <li>・読書や学びの場として中央図書館に学習席を設置し、土・日曜日に自習室を開設しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集・除籍方針に基づき、31,290冊を収集し、31,798冊を除籍しました。</li> <li>・図書館9館で〇〇回の企画展示や〇回のイベントを実施しました。</li> <li>・「たちかわ電子図書館」のコンテンツ充実を図り、貸出数<b>65,684</b>点、閲覧数<b>268,598</b>点の利用実績となりました。また、POPバトル作品や明星大学の学生が作成したヤングケアラー漫画などを電子図書館に登録・提供することで、誰でも閲覧できるようにしました。</li> <li>・中央図書館の学習席は16,733人、土・日曜日に開設した自習室は855人の利用がありました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料保管場所に限りがあるため、保存資料の見直しが必要となっているほか、資料価格や関連経費等が上昇しています。</li> <li>・雑誌・新聞の休刊や電子化が進んでおり、ニーズを捉えた提供方法の検討が必要です。</li> <li>・CDのセキュリティーケースが終売のため、CDの管理方法を変更する必要があります。</li> </ul>

## 4 評価

評価	B	評価理由	収集・除籍方針に基づき、適切に蔵書管理を行うとともに、図書館の利用促進のため、関係各所とも連携しながら企画展示やイベント等を実施したことで、貸出数は現状維持となりましたが、一部課題が残るためB評価としました。	参考				
				7年度	8年度	9年度	10年度	11年度

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用の促進のため、庁内関係部署と連携した企画展示やイベント等を拡充します。</li> <li>・CDセキュリティーケース終売に伴う管理・保管方法の変更とDVDの自動貸出機対応に向けた準備を行います。</li> <li>・選定用資料(新刊図書等の案内資料)の電子化に伴い選定会議等の運用を変更します。</li> </ul>
---------	---

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
貸出総数	1,478,098冊	1,478,000冊	1,428,373冊	1,478,000冊以上

■令和7年度実績

○企画展示開催数

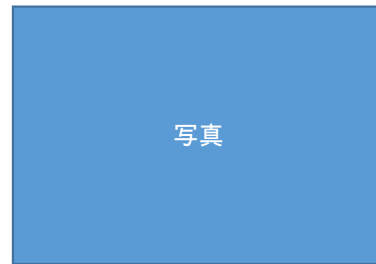
	中央	柴崎	上砂	幸	西砂	多摩川	高松	錦	若葉	合計
一般	61	21	22	13	35	29	26	20	80	307
ヤングアダルト	26	8	11	5	27	9	10	14	19	129
児童	52	17	27	16	50	19	77	20	39	317

【中央図書館】

- ・メンタルヘルス・女性の健康パネル展
- ・Peace2025 戦後80年
- ・本を大切にしましょう

【地区図書館】

- ・事業報告から引用
- ・
- ・



キャプション

○イベント等

中央図書館	たちかわ読書ウィーク講演会「川崎平右衛門と武蔵野新田開発～将軍吉宗・大岡越前のもとでの享保改革～」
柴崎図書館	(事業報告から引用)
上砂図書館	(事業報告から引用)
幸図書館	(事業報告から引用)
西砂図書館	(事業報告から引用)
多摩川図書館	(事業報告から引用)
高松図書館	(事業報告から引用)
錦図書館	(事業報告から引用)
若葉図書館	(事業報告から引用)

○たちかわ電子図書館

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
タイトル数(年度末)	8,376	8,517	8,632
貸出数	83,007	74,339	65,684
閲覧数	243,322	229,230	268,598
実利用者数(貸出)	5,475	4,866	4,315
実利用者数(閲覧)	6,402	6,142	7,938
1人当たり貸出数	15.16	15.28	15.22

※閲覧数は立川市関連資料(ログイン不要コンテンツ)を除く

※1人当たり貸出数は貸出数÷実利用者数(貸出)

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次図書館基本計画・第5次子ども読書活動推進計画>

施策	20	子どもの読書環境の充実	担当課	図書館
----	----	-------------	-----	-----

## 1 目的

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館として子どもの読書活動の推進と、読書環境の整備に取り組みます。</li> <li>・家庭や地域で読書しやすい環境の整備のため、関係機関・部署との連携強化を進めます。</li> <li>・市内の学校や学校図書館との連携により、児童・生徒が読書に取り組める環境整備を進めます。</li> </ul>
----	--

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちやその保護者に対し、絵本や図書館に親しみをもってもらえるような講座・イベントを開催します。また、子どもの読書活動に関わる大人に対する講座等を実施します。</li> <li>・市内の小中学校や高等学校、特別支援学校等と連携して、団体貸出やおすすめ本リーフレットの作成・配布のほか、読書や図書館が身近なものになるようなイベントを開催します。</li> </ul>
------	--

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児とその保護者が一緒に参加できる講座や乳幼児と絵本の関わりについての講座、小中学生向けの図書館員体験講座を引き続き実施するとともに、子ども向けのワークショップや子どもの読書に関心のある大人に対する講座等を企画しました。おすすめ本リーフレット等のほか市立小中学校および都立立川学園の児童・生徒に電子図書館利用カードを配布しました。</li> <li>・学校への団体貸出等に対応するための図書を購入し、蔵書の充実に努めました。また、中学生職場体験や教員研修等の受入れのほか、「図書給食」事業への協力を行いました。</li> <li>・市内の中高生が作成したPOPの展示、ビブリオバトルワークショップを引き続き開催しました。また中高生に向けて、心に残った本について語ってもらう新たな試みを企画しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児とその保護者向けの講座のほか、子ども向けワークショップやボランティア研修講座等を8回開催しました。また、小中学生向けに図書館員体験講座を実施しました。</li> <li>・小学校社会科見学や中学生職場体験などの9件受入れ、「図書給食」への推薦図書選定等を行いました。学校への団体貸出等図書を700冊購入しました。</li> <li>・「立川POPバトル」「ビブリオバトルワークショップ」を開催し、それぞれ164枚の応募、バトラー5人の参加がありました。また、新企画「私の見つけた一行」を実施し「たちかわ電子図書館」への掲載を行いました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座やイベントについて、希望者が多数の場合もあれば、なかなか集まらない場合もあるため、それぞれの内容を精査し、開催時期や曜日等を検討する必要があります。</li> <li>・子どもと本をつなぐ、読み聞かせボランティアは人材不足や高齢化が進んでおり、新たな人材の養成・確保が課題となっています。</li> </ul>

## 4 評価

評価	A	評価理由	参考				
			7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
		子ども向けのワークショップや研修講座等の開催により、子どもたちが読書や図書館に親しむ機会や、子どもの読書活動を支える大人への研鑽の場を提供することができました。また、中高生の図書館および電子図書館の利用促進に寄与できるような新たな企画を実施しており、A評価としました。	A				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせボランティアの養成講座を開催し、人材確保に努めます。また、引き続き研修講座を行いスキルアップを目指します。</li> <li>・ニーズは高いと思われるものの参加に結びついていない講座等について、開催時期や曜日の変更を検討します。</li> <li>・中高生に主体的に読書や図書館に親しんでもらえるような企画を進めます。</li> </ul>
---------	---

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
児童図書の貸出総数	566,936冊	567,000冊		567,000冊以上

■令和7年度実績

○講座・研修参加人数

	人数	講座・研修名(抜粋)
令和6年度	180人	ワークショップ「たのしい手紙を作ってみよう!」、講演会「子どもに本をつなぐこと、子どもの本を楽しむこと」
令和7年度	197人	講座「演じてみよう!紙芝居」、ワークショップ「ペーパーわんこ(とにゃんこ)をつくろう!」

○除籍児童書再利用事業実施状況

	開催日	来館団体数	冊数
令和6年度	令和6年8月19日(月)~23日(金)	54団体	3,359冊
令和7年度	令和7年8月18日(月)~22日(金)	54団体	3,897冊

※いずれも場所は中央図書館4階会議室

○パンフレット等配布状況

乳幼児向け	配布部数	小中学校向け	配布部数
あかちゃんといっしょに絵本をたのしもう	1,400部	こんにちは としょかんです(小学生、年3回)	計13,000部
この本だいすき! 0, 1, 2歳児編	1,400部	この本だいすき! 1. 2. 3年生編	1,500部
こどもといっしょに絵本をたのしもう	1,400部	この本だいすき! 4. 5. 6年生編	1,500部
親子で絵本をたのしもう!	1,400部	YA PRESS(ヤングアダルトサービスの紹介等)	1,500部
この本だいすき! 3, 4, 5歳児編	1,500部	リブ★どら(市内中学校・高等学校等、年3回)	計1,200部
基本図書リスト 0, 1, 2歳児編	2,800部	部活 de 小説(中学1年生)	1,500部
		仕事 de 小説(中学2年生)	1,400部

○図書館から団体への貸出冊数

	児童関連団体	その他※	合計
令和6年度			
令和7年度			

※その他 営利を目的としない団体で、市内にある社会教育団体、官公庁、病院、福祉団体等

○学校図書館の貸出数(1校あたり月間平均冊数)

	小学校	中学校
令和6年度		
令和7年度		

○学校図書館蔵書数

	蔵書数	1校あたりの平均蔵書数
小学校		
中学校		
合計		



<ワークショップ ペーパーわんこ  
(とにゃんこ)をつくろう! >

○定例おはなし会参加状況

		中央	柴崎	上砂	幸	西砂	多摩川	高松	錦	若葉	合計
乳幼児向け (0~3歳と その保護者)	回数	21	12	12	7	12	12	12	12	12	112
	参加者数	219	34	98	27	151	24	100	107	72	832
定例おはなし 会(4歳以上)	回数	30	12	36	7	21	44	11	21	24	206
	参加者数	214	96	186	77	121	122	91	138	96	1141

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次図書館基本計画>

施策	21	情報収集と課題解決支援の充実	担当課	図書館
----	----	----------------	-----	-----

## 1 目的

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域・行政資料の計画的な収集・保存を進めるとともに、資料のデジタル化を含めた体系的な整理・保存の在り方を検討します。</li> <li>・調べもの相談(レファレンスサービス)の充実やその周知を図るとともに、図書館職員の資質の向上を進め、専門性の高い職員の育成を推進します。</li> </ul>
----	---

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座やイベントの実施、パスファインダーの作成等を行い、情報とそれを必要とする人を結び付ける取り組みを進めます。</li> <li>・たちかわ電子図書館を活用し、立川市が発行する資料を中心にデジタルで情報提供を行います。</li> <li>・専門研修に参加し、図書館職員としての能力の向上に努めます。</li> </ul>
------	--

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業観光課と共催でビジネス支援相談および創業入門講座を実施したほか、図書館を活用して情報収集を行うための講座を実施しました。</li> <li>・情報の取得方法や資料の活用方法などをSNS等で周知を行いました。</li> <li>・東京都立図書館、国立国会図書館等が開催するレファレンス研修に職員を派遣しました。</li> <li>・引きこもり等の課題を抱える若者の支援を行う市内NPO法人と仕事体験を実施しました。</li> <li>・パスファインダーを新たに2件作成したほか、10件を更新しました。たちかわ電子図書館のジャンル「立川市関連資料」および「しらべてみよう『たちかわ』」に情報を掲載しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査・研究等への積極的な支援を行ったほか、講座・イベントの実施により、課題解決のための情報とそれを必要とする人を繋ぐことができました。</li> <li>・職員それぞれのレベルに合った研修に参加し、よりの確な情報提供へつなげる知識を得ました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域・行政資料のデジタル化を含めたあり方の検討があまり進んでいません。</li> <li>・レファレンスや課題解決支援が図書館のサービスとして行われている事があまり知られておらず、周知方法に課題があります。</li> <li>・たちかわ電子図書館を活用した地域・行政資料の収集のあり方の検討が必要です。</li> </ul>

## 4 評価

評価	B	評価理由	講座やイベントの実施や事業の周知、職員研修などを行いました が、全体的に現状維持の状況に留まっており、また地域・行政資料のデジタル化の取り組みが進んでいないなど、一部課題があるためB評価としました。	参考				
				7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
				B				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他自治体の事例を研究し、地域・行政資料の体系的な収集・保存の検討を進めます。</li> <li>・図書館単独ではなく、関連機関・部署と共催でイベントを実施することでサービスの周知を図ります。</li> </ul>
---------	--

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
レファレンス処理件数	2,920件	2,978件	2,936件	3,066件

■令和7年度実績

○地域・行政資料の計画的な収集・保存

- ・保存期間が経過した本庁舎廃棄文書から図書館未所蔵資料をピックアップ
- ・多摩地域発行の定期刊行物の製本化

○たちかわ電子図書館への地域資料公開

- ・市史編さん広報紙「たちかわ物語」
- ・たちかわ観光ガイドマップ
- ・立川市の歴史と文化財(立川市教育だより「たち」連載)
- ・避難所の手引き・避難所運営について(防災課作成)

○図書館活用講座

- ・出前講座 立川第二中学校1年
- ・たちかわ電子図書館講座(上砂) 7/12:①AM6名 ②PM2名
- ・図書館を活用した情報検索講座 11/3:2名 11/9:1名



「立川市の歴史と文化財」

○ビジネス支援サービス

平成15年6月、図書館は、商工課(現在は産業振興課)・立川商工会議所との連携による起業・創業のための情報提供を目的とした「ビジネス支援サービス」をスタート。2階と3階にビジネス支援コーナーを設置した。平成21年7月からは相談業務、平成23年度からはセミナー開催を開始した。

・相談件数

124件 ※第1・3土曜日の開催は引き続き中止

・セミナー参加者

延べ29名(2回開催 各2時間)

○職員対象の研修実績

専門研修

- ・人文情報の調べ方 応用編(国立国会図書館)
- ・児童図書館専門研修 I・II(東京都立図書館)
- ・レファレンス研修(中級)

都立図書館レファレンス研修

- ・講師養成講座
- ・美術情報
- ・健康・医療情報
- ・東京情報(オンデマンド)
- ・法律情報(オンデマンド)

館内研修

- ・TRCマーク/Toolii研修
- ・やさしい日本語研修

○図書館司書有資格者数(中央図書館)

令和6年度	29人
令和7年度	29人



2階ビジネス支援コーナー

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次図書館基本計画>

施策	22	多様な利用者の読書機会の確保	担当課	図書館
----	----	----------------	-----	-----

## 1 目的

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の読書バリアフリー計画を踏まえ、障害の有無や第一言語(母語)の違いに関わらず、誰もが読書を楽しめる環境整備を推進します。</li> <li>・外国語蔵書数を活用し、日本語以外の言語を母語とする外国人利用者のニーズに応えるほか、館内サイン・パンフレット等の充実や「やさしい日本語」の活用を進めます。</li> <li>・ボランティア団体等との連携を強化し、利用ニーズに柔軟に対応できる体制づくりを進めます。</li> </ul>
----	--

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書バリアフリーサービスで提供する点字図書、LLブックなどの資料セットを希望する小学校へ団体貸出しを行います。</li> <li>・多言語多読サービスを開始します。</li> <li>・点訳者養成初級講習会(後期)と補講のほか、音訳者講習会を実施します。</li> </ul>
------	--

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館担当者連絡会で読書バリアフリー資料セットの貸出についての説明や案内チラシの配布を行いました。</li> <li>・中央図書館3階の外国語図書コーナーに英語の「多聴・多読コーナー」を設置しました。</li> <li>・点訳者養成講習会は後期を6回、補講を2回、音訳者はレベルアップ講習会を1回実施しました。</li> <li>・「やさしい日本語」に関する職員研修を実施しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校を対象とした読書バリアフリー資料セットの貸出実績は2件でした。</li> <li>・「多聴・多読コーナー」の資料が貸し出され、英語学習の支援につながりました。</li> <li>・点訳者は延べ139名が受講を終了しました。初級受講の成果として絵本の点訳を行い、17冊が完成しました。音訳者は受講生から音訳処理に関する疑問点を集めて講習会の内容に盛り込み、技術向上を図りました(11名受講)。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書バリアフリーサービスの団体貸出については、学校側からの申込みを待つだけでは利用増は見込めないため、現在の運用方法を変更する必要があります。</li> <li>・令和6年度から試行実施を開始した妊産婦向け図書館資料等宅配事業については、利用状況等を勘案し、見直しの検討が必要です。</li> </ul>

## 4 評価

評価	B	評価理由	点訳者養成講習会初級終了者による点訳絵本17冊が完成し、読書バリアフリー資料の充実寄与しました。また、新たに「多聴・多読コーナー」の設置により、英語学習の資料を求める要望に応えることができましたが、小学校を対象とした読書バリアフリー資料の貸出事業の利用が少ないなど、一部課題があるため、B評価としました。	参考				
				7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
				B				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員や学校図書館支援指導員と連携して、読書バリアフリー資料セットが学校で活用されるように運用方法を見直します。</li> <li>・妊産婦向け図書館資料等宅配事業については課題を整理し、見直しを検討します。</li> <li>・外国語資料の更なる充実を図り、英語以外の言語についても資料収集に努めます。</li> <li>・点訳者養成中級講習会および音訳者講習会を開催し、点訳者の養成および音訳者の技術向上を行います。</li> </ul>
---------	--

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
読書バリアフリー資料の タイトル数	2,360	2,390	2,382	2,460

■令和7年度実績

○読書バリアフリー資料の蔵書状況

区分	対象	タイトル数	冊数
点字	一般	596	1,857
	児童	259	527
点字FD	一般	70	70
	児童	4	4
録音図書	一般	897	4,697
	児童	61	118
デイジー	一般	325	325
	児童	57	57
さわる絵本・ 布の絵本	児童	95	100
拡大写本	児童	19	60
合計		2,383	7,815

○点訳者養成講習会、音訳者講習会

	開催日数	参加人数
点訳者養成講習会(初級)	8	139
音訳者講習会	1	11

○点訳者養成講習会(初級)終了者による点訳絵本作成タイトルと冊数

冊数	17
----	----

【点訳タイトル】うさこちゃんのさがしもの、たまごのあかちゃん、きゅっきゅっきゅつ、ちいさなねこ、はなをくんくん、しろいうさぎとくろいうさぎ、わたしのワンピース、あぶくたった、ペレのあたらしいふく、おおきなかぶ、いたずらこねこ、だいくとおにろく、かばくん、かいじゅうたちのいるところ、マドレーヌといぬ、わたしとあそんで、おててがでたよ

○外国語資料の利用・蔵書統計

	貸出冊数	蔵書数
一般書	2,470	12,053
児童書	3,647	5,749
合計	6,117	17,802



中央図書館3階に多聴多読コーナーを設置

○妊産婦向け図書館資料等宅配事業(試行実施)の実施状況

	宅配	貸出冊数
令和6年度	71回	361冊
令和7年度	50回	255冊

※令和6年5月から試行実施

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次図書館基本計画>

施策	23	図書館施設・機能の充実	担当課	図書館
----	----	-------------	-----	-----

## 1 目的

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館施設利用者が安全で快適に利用できるよう、施設の適切な維持管理を行います。</li> <li>・図書館情報管理システムの安定運用と、時代のニーズや市民の利便性向上の視点を取り入れたサービスの充実に取り組みます。</li> <li>・読書活動や調査研究活動を通じて、多様な価値観の醸成や課題解決等の支援につながる生涯学習拠点としての図書館機能の強化に取り組みます。</li> </ul>
----	--

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館4階の照明設備をLED化するほか、設備の不具合を解消し快適な利用環境の維持に努めます。</li> <li>・こぶし会館中規模改修工事に伴い休館する幸図書館について、利用者や周辺住民に代替の図書館サービスを提供します。</li> <li>・図書館システムの安定的な運用を行います。</li> </ul>
------	---

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館4階の照明設備をLED化するとともに、蒸気配管等の不具合箇所の修繕を行いました。</li> <li>・幸図書館が休館している間、近隣の幸学習館に臨時窓口の開設とブックポストの設置を行い、幸図書館の利用者や周辺住民に一部の図書館サービスを提供しました。</li> <li>・幸学習館の臨時窓口で図書館システムが利用できるよう、ネットワーク敷設や機器の設置を行いました。</li> <li>・図書館システムについて、定期的に機能向上を伴うプログラム更新を行いました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館の利用者に快適な利用環境を提供することができました。中でも、照明設備のLED化により4階の読書環境は大きく改善しました。</li> <li>・幸学習館の臨時窓口開設により、予約資料の受け取りや返却を目的とした一定の利用がありました。</li> <li>・図書館システムは大きな不具合もなく安定的に稼働することができました。</li> </ul>
課題	中央図書館は施設の老朽化が進んでおり、電気設備や空調、配管設備等について計画的な改修・修繕が必要です。まだLED化されていない中央図書館2、3階や地区図書館の照明設備の改修を進める必要があります。

## 4 評価

評価	A	評価理由	中央図書館や地区図書館の設備修繕を行い、快適な利用環境の維持に努めたことにより、指標は目標値を上回ることができました。また、休館した幸図書館の代替窓口を設けることで利用者や周辺住民に継続して図書館サービスを提供することができたことからA評価としました。	参考				
				7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
				A				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	中央図書館2、3階照明設備のLED化工事を実施します。また、中央図書館の計画的な改修・修繕を進めるため、「施設のあり方」を策定します。令和9年度予定の若葉図書館中規模改修工事及び上砂・多摩川図書館の照明設備LED化工事に向けて、工事設計を進めていきます。図書館システムの更新及び指定管理者の更新に向けて、さらなるサービス向上と効果的な図書館運営を推進するため、時代のニーズに対応した機能・サービスの導入を検討していきます。
---------	---

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
図書館資料を借りた延べ 利用者数	566,556人	567,000人	575,988人	567,000人以上

■令和7年度実績

	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
開館日数(中央)	日	289	292	297
開館日数(地区館)※	日	325	331	334
総貸出冊数	冊	1,478,098	1,466,831	1,428,373
利用者数	人	566,556	580,959	575,988
登録者数	人	55,438	57,008	57,438
インターネット端末利用回数	回	2,422	2,863	2,423
学習席延べ利用回数	回	-	15,339	16,733
中央図書館2,3階入館者数	人	320,838	340,628	354,547

※改修工事等による臨時休館があった館を除く

○中央図書館の工事・修繕等実績

- ・4階照明設備LED化工事
- ・1～5階空調機コイル修繕
- ・2～4階加熱蒸気配管修繕
- ・貯湯槽防食用電極保持器交換修繕
- ・4階会議室ドアクローザー修繕
- ・1階健康サロン倉庫扉修繕
- ・地下1階貯湯槽修繕
- ・2階南西機械室ダンパー修繕
- ・2階南西一般開架排煙口修繕
- ・エレベーター籠内備蓄品交換

○地区図書館の工事・修繕等実績

- ・立川市上砂図書館油圧式エレベーターシーケンサー交換修繕
- ※小規模修繕は指定管理者で実施

○幸図書館休館に伴う幸学習館臨時窓口の開設

- ・令和7年11月15日から令和8年3月15日まで



<中央図書館2階入口>



<中央図書館4階閉架書庫>